

## 各部門別事業実施状況

### 事 務 部

#### <法人事務等>

##### 1 評議員の状況（令和元年度末現在）

評議員の氏名	職 業	評議員選任・解任 委員会決議年月日	任 期
天野 隆博	太陽の門家族会 会長	平成 29 年 3 月 3 日	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月
杉山 輝雄	無職	平成 29 年 3 月 3 日	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月
武田 伸六	行政書士	平成 29 年 3 月 3 日	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月
柴田 和生	足柄療護園事務局長	平成 29 年 3 月 3 日	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月
肥土 実	神奈川県重症心身障害 児を守る会 副会長	平成 29 年 3 月 3 日	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月
堀内 勇	(福) 福音寮 理事	平成 29 年 3 月 3 日	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月
牧野 賢一	(特非) UCHI 理事長	平成 29 年 3 月 3 日	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月

・任期中に退任した評議員（再任された者を除く） なし

##### 2 理事の状況（令和元年度末現在）

理事の氏名	・理事の役職 ・常勤・非常勤の別 ・職業	評議員会 決議年月日	任 期
内田 恵之	理事 常勤 風祭の森 理事長	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月
大川 俊哉	理事 常勤 太陽の門 施設長	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月
伊藤 崇博	理事 非常勤 (福) 常成福祉会 専 務理事	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月
飯田 美枝子	理事 非常勤 無職	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月
篠崎 登	理事 非常勤 (医) 三成会 新百合 ヶ丘総合病院 乳 腺・内分泌外科部長	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月
小川 陽	理事 非常勤 (福) 唐池学園 旭ヶ丘貴志園施設長	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月

- ・任期中に退任した理事（再任された者を除く） なし

### 3 監事の状況（令和元年度末現在）

監事の氏名	職 業	評議員会 決議年月日	任 期
鈴木 利明	無職	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月
山田 豊	税理士	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月

- ・任期中に退任した監事（再任された者を除く） なし

### 4 評議員選任・解任委員会委員の状況（令和元年度末現在）

委員の氏名	職 業	理事会 決議年月日	任 期
渡辺 貞	無職	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月
鈴木 利明	無職	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月
高橋 徹	(福)風祭の森 職員	令和元年 6 月 19 日	令和元年 6 月 19 日～令和 3 年 6 月

- ・任期中に退任した委員（再任された者を除く） なし

### 5 評議員会開催状況

#### 第 65 回定時評議員会（6 月 19 日 7 名中 6 名出席）

- 議 題
- 1 平成 30 年度計算書類及び財産目録の承認について
  - 2 社会福祉法人 風祭の森 定款の一部変更について
  - 3 理事 6 名の選任について
  - 4 監事 2 名の選任について

報告事項 ・平成 30 年度事業報告の内容報告について

#### 第 66 回評議員会（11 月 20 日 7 名中 6 名出席）

- 議 題
- 1 令和元年度上半期決算報告案
- 報告事項
- ・令和元年度上半期事業報告の内容報告について
  - ・令和元年度第一次補正予算の内容報告について

### 6 理事会開催状況

#### 第 90 回理事会（5 月 29 日 6 名中 6 名出席）

- 議 題
- 1 平成 30 年度事業報告案
  - 2 平成 30 年度決算報告案
  - 3 定款の一部変更について
  - 4 社会福祉法人風祭の森 常勤職員就業規則及び非常勤職員就業規則の一部改正について
  - 5 社会福祉法人風祭の森 常勤職員給与規程及び非常勤職員給与規程の一部改正について
  - 6 社会福祉法人風祭の森 定年後再雇用規程の一部改正について

- 7 理事候補者の推薦について
- 8 監事候補者の推薦について
- 9 定時評議員会の招集について

第91回理事会 (6月19日6名中6名出席)

- 議 題
- 1 理事長の選定について
  - 2 評議員選任・解任委員会委員の選任について

第92回理事会 (11月11日6名中5名出席)

- 議 題
- 1 令和元年度上半期事業報告案
  - 2 令和元年度上半期決算報告案
  - 3 令和元年度第一次補正予算案について
  - 4 社会福祉法人風祭の森 非常勤職員就業規則の一部改正について
  - 5 社会福祉法人風祭の森 経理規程の一部改正について
  - 6 評議員会の招集について

報告事項 ・理事長の職務執行状況報告について

第93回理事会 (3月6日6名中5名出席)

- 議 題
- 1 令和元年度第二次補正予算案
  - 2 令和2年度事業計画案
  - 3 令和2年度予算案
  - 4 社会福祉法人風祭の森 南足柄市障害児通園施設「くまさん教室」(児童発達支援)運営規程の制定について

報告事項 ・関東信越厚生局適時調査の結果について  
・小田原保健福祉事務所立入検査の結果について

## 7 監事監査

5月20日実施 指摘事項なし

## 8 理事、監事、評議員の異動

退任 6月19日 岡崎 良信 (監事)

新任 6月19日 鈴木 利明 (監事)

## 9 法人登記変更申請

(1) 資産総額の変更登記 (6月26日)

## 10 関東信越厚生局による施設基準等に係る適時調査

令和元年12月5日実施

- 文書指摘事項
- ・入院基本料に係る褥瘡対策チームの設置が確認できる書類（設置要綱等）が整備されていないので改めること。
  - ・掲示事項について、各勤務帯のそれぞれで1人の看護要員が実際に受け持っている入院患者数を病棟内に掲示していないので改めること。
- 改善報告
- ・指摘のあった入院基本料に係る褥瘡対策チームの設置が確認できる書類については、令和元年12月10日に「褥瘡対策委員会設置規程」を改定し褥瘡対策チームに関する事項（チームメンバー、ラウンドの時間、回数、役割）を明確にした。
  - ・掲示事項については、1階施設入口玄関付近に掲示してある内容と同じ内容を3階病棟入り口にある掲示板に令和元年12月20日に掲示した。

1 1 医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査

令和元年 12 月 18 日実施（神奈川県小田原保健福祉事務所）

文書指摘・文書指導事項 なし

1 2 児童福祉法及び障害者総合支援法に基づく指導監査及び実地指導

令和元年 12 月 18 日実施（神奈川県障害サービス課）

指導監査 指摘事項なし

実地指導 文書指摘

- (1) 非常災害に関する具体的な計画を立ててください。
- (2) 取消料について、重要事項説明書の内容が実態と相違しているため、改善してください。
- (3) 事業所の平面図（放課後等デイサービス）について、変更されていますが 10 日以内に県に届け出ていないため、速やかに届け出るとともに、今後は留意してください。
- (4) 指定居宅介護事業所ごとに、当該指定居宅介護事業所の従業員によって指定居宅介護を提供しない事例があったため、改善してください。
- (5) 苦情解決責任者について、重要事項説明書の内容が実態と相違しているため、改善してください。
- (6) 利用受付時間及びサービス提供時間について、重要事項説明書の営業時間が実態と相違しているため改善してください。
- (7) サービス管理責任者が常勤要件を満たしていないため、改善してください。満たしていない間のすでに受給した介護給付費については、過誤請求等により是正してください。

- 改善報告
- (1) 風水害等の非常災害等に関する防災計画を、太陽の門福祉医療センター及び開成町に設置した地域支援センターひまわり共に作成しました。
  - (2) 各事業ともに、共通した取り扱いを確認し、実態に合わせた、重要事項説明書の記載に改善しました。
  - (3) 開成町に事業所を設置した際に、放課後等デイサービス事業所を移転の予定でしたが、都合により移転を見合わせました。しかし、平面図には残ったままになっていましたので、平面図から記載削除しました。
  - (4) 個別支援計画に記載していた訪問介護担当者が、状況によって変更になった事例であり、個別支援計画の記載について改善しました。
  - (5) 実態に合わせた、重要事項説明書の記載に改善しました。
  - (6) 実態に合わせた、重要事項説明書の記載に改善しました。
  - (7) 各市町に報告し、過誤請求の手続きを始めました。

### 1 3 人事・労務

#### (1) 入・退職者

##### ・入職者（計29名）

事務課長1名 作業療法士1名 看護師3名 介護士2名 デイ介護士3名  
放デイ看護1名 放デイ介護士1名 地域活動支援員2名 児童発達支援  
9名 登録ヘルパー1名 事務職1名 ランドリー作業員4名

##### ・退職者（計11名）

介護士2名 相談1名 放デイ看護2名 児童発達支援2名 登録ヘルパー1名 事務職2名 ランドリー作業員1名

#### (2) 職員配置状況（令和2年4月1日現在）

・施設部	常勤	54名	非常勤	14名	嘱託	2名	計	70名
・地域支援部	常勤	21名	非常勤	14名	嘱託・登録ヘルパー	6名	計	41名
・事務部	常勤	5名	非常勤	8名	嘱託	1名	計	14名
・合計	常勤	80名	非常勤	36名	嘱託等	9名	計	125名

## 施 設 部

### <重症心身障害児施設>

(生活支援課)

1 利用者の在籍状況等について（令和2年4月1日現在）

- (1) 長期入所者 47名（準超重心9名、その他38名）
- (2) 中期入所者 在宅重心児者が1か月程度の範囲で利用  
実人員7名 利用延べ日数738日（前年同月比95%）
- (3) 短期入所者 在宅重心児者が休養等様々な理由で利用  
実人員34名 利用延べ日数640日（前年同月比106%）

※利用状況及びベッド稼働率（別紙資料【表1】～【表4】参照）

2 利用者の生活支援について

(1) 支援体制

医師、生活支援員、看護師による日々の申し送りや連絡、必要に応じてリハビリスタッフや栄養士などを交えた検討を行い、福祉と医療が連携した総合的な支援を行っています。

利用者のグループをN側、S側の2グループ体制として、生活支援と看護スタッフを分けて、利用者支援の役割と責任を明確にした支援体制により、スタッフの動きが機能的にして、きめ細かな介護・看護体制を維持しています。

(2) 個別支援計画

個別支援計画の充実に向けて、様式を修正し個別支援計画及びモニタリング実施時には担当者会議などを通して、職員には基本的な考え方から具体的な作成方法など再確認していきました。

担当者会議においては、生活支援、看護、リハビリ、栄養の面からモニタリングを実施し、下半期年度における個別支援計画を立案し、本人・家族・後見人に対して個々に面談の場を設け、意見交換を実施して双方の合意を得た個別支援計画を立てました。様式を変更したことでより利用者個別の計画が明確になると共に意思決定支援も視野に入れて作成できるようになっています。

(3) 日中活動等（別紙資料【表5】参照）

ア 日中活動

入浴日（火・木・土）以外の午前と午後の時間に、個別や集団による活動を実施しました。

主な活動としては、手遊び、水遊び、歌遊び、光遊び、シーツブランコ、マッサージ（リラクゼーション・ストレッチ）、アロマセラピー、壁面やポスター作り、絵本、お洒落タイム、エプロンシアター、散歩など、スタッフが創意工夫をした活動に努めました。

また、好みが合う利用者同士のクラブ活動も行っており、陶芸・コーヒー、デザート、音楽などを楽しむ活動も行っています。普通食を召し上がっている方はお楽しみ昼食会として駅弁を購入し、普段と違った味わいを楽しみ

ました。

活動の際には、個々の利用者の笑顔の写真を撮り、スタッフのメッセージを添えて、家族や後見人にお渡ししています。

この他、ボランティアによる音楽や紙芝居、個別支援などを実施し、日々の生活に変化を与えるよう心がけました。

#### イ 行事等

毎月の誕生会、端午の節句、七夕祭り、アイスパーティー、などの行事を行い、季節感を味わっていただきました。

また、毎月「替り風呂」を行い、血行促進や美肌効果がある紅茶、コーヒー、バラ湯などを行いました。

#### ウ 外出（別紙資料【表6】参照）

利用者個々の目的に応じた外出も実施しました。

#### エ 家族室等を利用した小集団の活動（別紙資料【表7】参照）

食事や喫茶、光遊びやミニコンサートなどを3～4人の小集団でのお楽しみ会を実施しました。ご家族が参加される時もあり、アットホームな余暇活動を実施しました。

#### （4）リスクマネジメント

事故・ヒヤリハット報告の提出の促進、分析と対応策の強化・徹底を行い、安心・安全な生活の確保に努めました。

ランドリーに出す衣類や口拭きタオル及び職員ユニフォーム内よりメモ紙等生活支援上の物品等の異物混入が、年度当初より散見するため、職員間でランドリーに出すものに対する確認を徹底し完全に事案発生ゼロにむけて取り組んでいます。

NG チューブの抜去や内出血等の報告があり、ベッド柵に保護材やカバーを取り付けるなど、個々の事故・ヒヤリハット報告の検証を行いました。また、リスク委員会で法人全体への周知や予防策としての危険予知訓練を行い、生活上の危険回避にも努めました。

#### （看護課）

##### 1 利用者の健康管理について

###### （1）健康診断など

日々の検温の他、排泄や食事量のチェックのほか、定期的な血圧や体重の測定、血液・脳波・レントゲン検査を実施し、利用者の健康管理に努めています。

###### （2）通院等

小田原市立病院（耳鼻科、循環器科、婦人科、内科）、山近病院（循環器科）、藤沢市民病院（眼科、循環器科）、戸沢皮膚科、静岡てんかんセンター等他院通院は延べ17名で、専門医療の受診を行っています。

歯科についても、小田原二次歯科で治療や検査で延べ18名が受診しました。

なお、平成25年度より依頼している訪問歯科での検診や歯石除去を行い、延べ363名が受診しました。

## 2 感染症対策について

### ア インフルエンザ対策

インフルエンザの流行に合わせて、毎朝感染症情報センターより確認した流行状況を口頭及びナースステーションに貼り出すなどにより情報共有を行いました。

また、手洗いやマスクの利用、外出制限、環境整備、一行為一手洗いなど対策の徹底を呼び掛けました。

流行状況に合わせて、外部との交流者に対してはカーテンや個室利用等、一定期間交流を管理するなど感染予防に努めた結果、本年度はインフルエンザ発症なく経過しました。

### イ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の国レベルから周辺都県、市での発生状況の把握提供を行い、予防のための手洗い、マスクの利用、不要不急の外出を控えること、3密を作らないことに対して毎朝注意喚起を行いました。

また、生活環境における感染拡大を予防するために定期的なアルコール清拭、換気、扉の開放を行いました。

職員は出勤時と勤務前の検温の実施、利用者に対しては外出中止、体温測定を1日2回に増やし、健康チェックを綿密に行うようにしました。

短期入所者は入所中、中期入所者は1週間個室対応とし、一定期間交流を管理するなど感染予防に努めました。

さらに、入所者への面会中止、ボランティアの受け入れ中止、業者等は玄関対応にしました。建物内に立ち入らざるを得ない場合は、検温など健康状況の確認を行うなど外部との交流を制限しました。

医療物資について、他部門と協力しながらマスクやエプロン、手袋、消毒用物資など納入状況に合わせて調達、管理を行いました。

その結果、3月末時点で施設部内での発症は見られていません。

### ウ その他

インフルエンザなど呼吸器感染以外の感染症に対しては、必要時潜伏期間に合わせて個室管理としたり、入退所を制限したりして感染予防に努めました。

(診療課)

### <リハビリ外来等>

理学療法士3人、作業療法士2人の体制で実施してきました。理学療法士は昨年度と同様、外来・入所リハビリ共に頻度を維持することが出来ました。作業療法士は2名体制となりましたが、1人は育児休業後に復帰した職員が短時間勤務であり下半期は妊娠のため業務制限をかけていました。もう1人の作業療法士は、新規卒業者採用により入職した職員であり1年をとおして職場に慣れることが第一目標でありました。そのため限られた時間で直接的な臨床業務と指導とを行う必要がありました。

月2回の診療課会議には、管理栄養士と薬剤師も出席しており、診療課全体での情報共有と相談の場となるように努めました。また、可能な限り相談員も出席



しており、外来利用者を中心とした県西地区の重症心身障害児者について報告・相談し連携を図りました。

新たな試みとして、「外来未就学児のプール活動」や職員に対する「腰痛予防に関する指導」、「支援課とリハビリ合同での入居者の活動」を行うことが出来ました。プール活動では普段のリハビリでは見られない反応に、ご本人やご家族も満足されていました。腰痛予防に関する指導として、ラジオ体操の指導及び腰痛ベルトに関する研修を実施しました。

## 1 リハビリ外来

リハビリ外来利用者は、理学療法に76名（6歳未満7名・18歳未満29名・18歳以上30名）、作業療法に56名（6歳未満8名・18歳未満20名・18歳以上19名）が受診しています。新規受け入れは、理学療法7名、作業療法9名でした。

前年度と比較すると、理学療法は3658単位から4007単位と9.5%増となりました。作業療法は8単位から1320単位となりましたが、この増は育児休業からの復帰によるものです。

## 2 入所者へのリハビリ

前年同期と比較すると、理学療法は3137単位から3194単位と1.8%増となりました。作業療法は13単位から1710単位と大幅な増となっておりますが、この増も職員の復帰によるものです。

## <栄養管理>

### 1 給食管理業務

- ア 月1回の行事食・お誕生日ケーキでは毎月のテーマに沿った内容を検討し、イベント性のあるメニューを考案しました。
- イ 1ヶ月ごとのサイクルメニューは毎月見直しを行い、給与栄養量の評価と喫食者の意見を反映し、積極的に新しいメニューを取り入れ、内容の充実化を図りました。
- ウ 毎月、アンケートへの記載内容について給食委員会で公表し、意見や要望については委員会メンバーや委託給食会社と対策を検討しました。
- エ 上半期より提供を開始した利用者（入所・デイ・放デイ）への選択メニューについて、オーダーから提供までの段取りが円滑になるよう他部署・多職種と連携しながら、月に1回、利用者に個別で選んでいただいたメニューを提供しました。  
また、選択メニューに対する利用者の満足度や提供の段取り等について、2月に各支援現場の職員へアンケートを実施し、評価を行いました。

### 2 栄養管理業務

- ア 長期入居者全員の栄養ケア計画書を作成し、個別支援面談において、計画書の配布とともに各入居者のご家族へ説明をしました。（3月）

- イ 入居者の栄養スクリーニングと栄養管理計画書を毎月見直し、作成しました。
- ウ 栄養や食形態などについて、他職種と適宜カンファレンス・打ち合せ等を行い、入居者個人の健康状態や嚥下機能に応じた食事を検討しました。

### 3 施設設備・衛生管理業務

- ア 委託給食会社による給食提供に対し、朝礼時の伝達や掲示物、資料の回覧等を通して厨房職員への啓発を行うなどして、安全・衛生管理の指導を行いました。
- イ 厨房設備について、不備の無いよう必要に応じて点検や修理の手配を行い、適切な管理に努めました。
- ウ 定例の厨房内環境調査により、厨房の衛生状態について検査をしました(12月)

### 4 その他

- ア 約束食事箋の内容について見直しを行い、令和元年度版を作成しました。
- イ ヴィエントギャラリーで給食部門の担当月に掲示物を作成し、「選択メニューとイベント食のご紹介」というテーマで取り組みを紹介しました。
- ウ 定期的な研修会への参加により、当施設の栄養管理に活かせる新たな知識や情報を習得しました。また、専門誌・専門書の購読等により、専門職としての知識・技術の向上に努めました。

## <薬 局>

### 1 医薬品の適正使用と情報提供

- ア 薬事委員会を開催し、採用医薬品の検討や更新、備蓄量、品目を調整しました。
- イ 随時、医療情報誌・公文書・メーカー通達書類、インターネット等に目を通し、情報を収集し、特に重要と思われるものに関しては、他の医療従事者と情報を共有しました。
- ウ 入所者に適切と思われる薬剤の剤形、処方内容の再評価について医師に提案し、適正な薬物治療に貢献いたしました。
- エ 感染予防、消毒薬適正使用について、職員に対して情報提供をし、消毒薬の調製を行いました。

### 2 医薬品安全管理

- ア 「医薬品の安全管理のための業務手順書」を改訂いたしました。
- イ 新規採用薬についての説明と、救急時に使用する薬の使用法について、看護師を対象とした勉強会を実施しました。
- ウ 「調剤内規」を作成いたしました。

### 3 在庫管理の徹底

- ア 医薬品等の使用期限の調査を実施いたしました。(実施月：7月)
- イ 医薬品の在庫量を把握し、過剰在庫をなくすために年2回棚卸しを行いました。(実施日：9/27、3/31・品目数：210、191・在庫合計額(薬価換算)964,778円、810,769円)

- 4 医薬品費の削減と安全な医薬品の選定
  - ア 高品質の後発品を選定し、採用することにより医薬品費の削減に努めました。
  - イ 過剰在庫を減らし、医薬品の在庫を管理することにより、昨年に引き続き、医薬品購入費の削減に努めました。平成31年度の医薬品購入費 5,290,056 円。(昨年度より 673,264 円減少)
  
- 5 短期・中期利用者の持参薬の適正対応。
  - ア 短期・中期利用者の入所時の面談に立ち会い、看護課と連携して持参薬の管理を行うとともに、ご家族に薬剤情報、保管管理、服薬方法などの指導を行いました。
  - イ 持参薬について、調剤方法の要望や不明点の確認を薬局へ問い合わせることにより、地域連携に貢献いたしました。
  
- 6 専門職としての知識の向上および他施設との連携。
  - ア 薬剤師会、製薬会社等が開催する勉強会に出席し、薬学や医療に関する知識を習得しました。
  - イ 重心児・者に関わる薬剤師の講習会に参加し、重心施設に特徴的な医薬品の使用法や服用方法について、他施設の薬剤師と情報交換しました。

## 地域支援部

### <デイサービス>

- 1 利用者の状況 (別紙資料【表8】参照)

令和元年度末現在の利用契約者は、重症心身障害者 23 名、身体障害者 15 名、知的障害者 1 名の合計 39 名となっています。

年間、254 日開所し、延べ 4188 名が利用しました。1 日平均 16.4 名となっています。

前年度は 251 日開所し、延べ 3671 名利用、1 日平均 14.6 名でした。
  
- 2、個別支援計画の充実

9 月と 3 月に個別支援計画の評価及び計画を作成しました。また、作成した利用者、利用者ご家族との面談を実施し、個別支援計画の説明と要望の聞き取りをおこない、サービスの充実に努めました。利用者の状況に応じて相談やヘルパーなどの関係事業所と連絡を取り、利用者支援に関して情報共有を図りました。
  
- 3 日中活動の状況 (別紙資料【表9】参照)

園芸、陶芸、スポーツ、制作、リクエスト活動の他、季節の活動として正月やバレンタインなどにちなんだ活動を実施しました。

特に、利用者主体で活動の内容を決める「リクエスト活動」では、カラオケや

クイズ大会、バスケットボールなどバラエティに富んだ活動を実施しました。

リクエスト活動を発端として同じ興味関心のある利用者同士が集まって好きな事をしたり、共同で作品作りに取り組んだり、利用者同士の積極的な交流もみられました。

## <ヘルパー事業>

### 1 利用者の状況

令和元年度末現在の利用契約者は、障害児者 52 名にサービスを提供しました。

(内訳：肢体不自由児 2 名、身体障害者 17 名、重心児 8 名、重心者 13 名、知的障害児 2 名、知的障害者 7 名、視覚障害者 2 名、精神障害者 1 名)

### 2 活動実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
居宅介護(時間)	1888.5	1928.5	1716.5	1302.5	1150
同行援護(時間)	260.5	264.5	254.5	247.5	236.5
移動支援(時間)	1858	1154	755	782	578.5
日中一時(回)	35	45	15	2	4
福祉有償運送(回)	578	683	513	381	286

直近の5年間の事業実績を比較すると、年々減少し、5年前と比較すると居宅介護サービスは 783.5 時間の減、同行援護サービスは 24 時間の減、移動支援サービスは 1279.5 時間の減、日中一時は 31 回の減、福祉有償運送は 292 回の減と大幅に減少しています。

利用契約者数についても、27年度 43 名が、28年度 51 名、29年度 54 名、30年度 53 名、令和元年度 52 名と 28 年度以降は多少の増減があるだけで、利用者の拡大が相当厳しい状況でありました。

一方、職員の状況をみると、27年度は常勤職員 2 名のほか登録ヘルパーが 7 名でヘルパー活動を実施していましたが、28年度以降は常勤職員 2 名のほかに登録ヘルパーは高齢化などの理由によって 4 名となったこと、登録ヘルパーの活動が特定の利用者のみ限定されるなどヘルパー活動の起動力が失われたこと、ヘルパー職員の確保が難しいことが大きな原因と考えられます。

### 3 障害福祉サービス地域拠点事業

県西圏域の各市町で支援の中核を担う居宅介護事業者メンバーで構成した「あんしんヘルパーネット」を県西地域拠点事業内に設置し、有機的な連携を図る趣旨であんしんヘルパーネット会議を開催しました。

\*10月24日 あんしんヘルパーネット会議開催 参加者 17名

「明日から私たちに出来る事」アンケート結果に基づいた、お仕事フェア開催に向けて関係機関と話し合いを行いました。

\*2月13日 あんしんヘルパーネット会議開催 参加者 21名

前回会議同様にお仕事フェア開催に向けて関係機関との話し合いをおこないました。

\* 3月中旬に会議開催の日程調整をおこなっていましたが、コロナウィルス感染症拡大防止に基づき、延期としました。

## <相談室>

- 1 障害児者の障害福祉サービスの計画相談支援（別紙資料【表 10】参照）
  - ・計画相談支援事業は、令和元年度末現在 139 名（内訳：在宅 84 名・入所 55 名）と契約しています
  - ・計画相談支援 113 件、モニタリング 297 件、併せて 410 件行いました。
  - ・前年度は、計画相談支援 88 件、モニタリング 209 件、併せて 297 件でした。
  - ・計画相談支援・モニタリングの実施にともない、利用者の状況把握や必要な支援の提案、見直しを行い、利用者が安定して在宅生活を継続できるよう支援しています。また関係機関とは利用者に関する情報共有・意見交換を行うことで更なる連携を図れるよう取り組みました。
  
- 2 県西圏域ナビ事業
  - ア 相談支援ネットワークとサービス提供ネットワークについては、支援内容の「質」と資源（人員）不足「量」の課題が共通しています。質の課題については、事例検討会等を通じて地域での人材育成に取り組んでいます。量の課題については、人材不足解消の一環として福祉フェアの検討や特定相談新規参入予定の事業者への開設支援等を行っています。  
また、地域移行・定着推進ネットワークについては、当該事業の更なる推進に向け、取り組んでいます。
  - イ 小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町地域障害者自立支援協議会、足柄上地区地域自立支援協議会との連携を図るため、2市8町相談支援事業所連絡会を通じて各協議会・部会・実施事業などへの参画・協力等を行ってきました。
  - ウ 神奈川県障害者自立支援協議会には、県西圏域の相談支援等のネットワーク形成支援の取組み状況等について報告しています。
  - エ 相談支援従事者初任者研修に対して講師等を派遣し、新規の相談支援従事者とのネットワーク形成を図っています。

## <放課後等デイサービス「きゃんばす」>

- 1 利用者の状況（別紙資料【表 11】参照）

令和元年度末現在の利用契約者は、小田原市 13 名・南足柄市 3 名・箱根町 1 名・大井町 1 名合計 18 名となっています。（対象は重症心身障害児）

年間、251 日開所し、延べ 986 名が利用しました。1 日平均 3.9 名となっています。前年度は 250 日開所し、延べ 1181 名が利用し、1 日平均 4.7 名となっています

## 2 個別支援計画の充実

6ヶ月毎にご家族と面談し、ご家庭や事業所での様子や身体状況の把握、意向、課題等の意見交換をしました。また、学校や相談事業所等の関係機関と連携しケース会議やサービス担当者会議に参画しました。障害児の発達を支援する上で適切な支援内容を検討した上で個別計画書を作成し、計画に基づく実施・評価・見直しをしました。

ご利用者の情報整理シートの書式については、部署内で「情報の更新のしやすさ」「必要な項目」などに着目し情報の整理と更新をしました。

## 3 日中活動の状況（別紙資料【表12】参照）

ご利用者が主体的に活動できるように、健康状態、発達段階、障害特性、特技などを把握し、一人ひとりに合った支援方法などを検討して、ご本人の意思を尊重した支援をおこないました。

上半期は、「制作した作品を秋祭りで販売する」を目標に掲げ、それぞれのご利用者が協力して商品や宣伝ポスターの制作に取り組めるようにしました。

下半期は、料理・掃除など生活体験の活動を通して、調理器具や日用品に触れる機会を作りました。また、クリスマス会・お楽しみ会・卒業を祝う会などのイベントを企画し、ご利用者が取り組んできたダンスや作品を発表して、表現する喜びや達成感を得る機会も設けました。

## <地域活動支援センター事業>

### 1 利用者の状況（別紙資料【表13】参照）

令和元年度末現在では、南足柄市 29名・開成町 18名・大井町 6名・山北町 6名・中井町 5名・松田町 1名合計 65名となっています。その内訳は、児童 11名・身体障害者 2名・精神障害者 41名・知的障害者 11名となっています。

### 2 事業実施時間と利用状況

児童は、水曜日・木曜日の10時から13時、成人は、月曜日・火曜日・金曜日は10時から16時、木曜日は14時から19時までとなっています。

令和元年度は、241日開所し、延べ1705名（内・児童395名）の利用がありました。一日平均7名となっています。

前年度は、249日開所し、延べ1426名（内・児童360名）の利用があり、一日平均5.7名でした。

### 3 日中活動・地域活動等

ア 成人プログラム活動では、身体運動によるストレス発散、ルールの共有による集団への所属感や仲間との一体感を得ることを目的にスポーツ活動を実施しました。下半期は国際医療福祉大学 小田原キャンパス作業療法科、積善会看護専門学校との学生等とスポーツを通じた交流の機会を提供しました。

#### イ ちいきふくし博

南足柄市役所アトリウムを会場に、行政及び足柄上地区に所在する30か所の福祉

事業所の協力（設営、作品展示、受付等）のもと開催し、最終日には、足柄上地区1市5町のご当地キャラクターを招待し、イベントを盛り上げることにより、約600名の来場があり、障がいのある方の活動について広く知っていただく機会となりました。

#### エ 交流スペースの開放状況

当事者の親の会の活動や、地域の幼稚園の役員会、子ども会、趣味のサークル活動の場、さらには高校生の放課後自習スペースとしてのご利用や足柄上地区の地域住民が持ち寄った作品と地域活動支援センターの利用者の作品を共に常時展示しており、創作活動を通じた自然な交流が生まれ、年間800名を超える来場がありました。

## <児童発達支援事業「くまさん教室」>

### 1 利用状況

区 分	くまさん教室	みかん組	ことばの部屋
登録者	13名	7名	7名
開所日数	109日	59日	39日
延べ利用者数	790名	149名	78名
利用者数/日	7.2名	2.5名	2.0名

### 2 開所日等

#### (1) くまさん教室

- ・未就園児を対象として、生活習慣の確立や社会性を獲得するために、集団又は個別で療育をしました。
- ・月曜日～金曜日 9:30～13:00

#### (2) みかん組

- ・就園児を対象として、社会性や簡単なルールを獲得できるように、小集団で療育をしました。
- ・月曜日、火曜日、金曜日 14:30～16:30

#### (3) ことばの部屋

- ・就園児を対象として、ひとりひとりに適した言葉の指導及び、就学準備等を個別で指導しました。
- ・火曜日、木曜日 14:00～16:00

### 3 内 容

#### (1) 発達支援

利用児童の主体性を第一に、楽しく見ること聞くことができるような支援を目指し、その子の特性に合った支援プログラムを立案、提供しました。

集団活動として、月ごとの活動内容のテーマを決め場面展開することで、意識の定着につながるようにしました。

#### (2) 家族支援

保護者が安心して子育てに向き合えるように、家庭連絡帳のやり取りや、月2

回の母子通園（うち1回は保護者会）等で児童の日々の成長を確認し合い、保護者の不安や悩みの軽減に努めると共に、保護者同士の気軽な交流の場になるように支援しました。

(3) 地域支援

児童及びその家族に対して身近な地域資源の情報提供と、地域移行にスムーズに繋がるように、市内の幼稚園や保育園等との交流や連携をはかりました。また地域のボランティアグループの方々に定期的に療育参加して頂き交流の機会を持ちました。



<別紙：実績等資料>

(重症心身障害児者施設)

1 利用状況及びベッド稼働率

【表1】長期入所

定員 47 人	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
4/1 在籍 (人)	46	45	46
3/31 在籍 (人)	45	46	47
実利用者 (人)	48	46	48
医療ケア度	内/準超重症児者 9 名	内/準超重症児者 9 名	内/準超重症児者 9 名
年内延数 (人)	16,650	16,632	17,077
稼働率 (%)	97	96.9	99.2

※ベッド稼働率=延数計÷(定員×【4月～3月総日数 365日】)×100

【表2】中期入所

定員 3 人	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
4/1 在籍 (人)	3	3	3
3/31 在籍 (人)	3	3	1
実利用者 (人)	9	9	7
医療ケア度	内/超重症児者 1 名 内/準超重症児者 2 名	内/超重症児者 1 名 内/準超重症児者 1 名	内/超重症児者 1 名 内/準超重症児者 1 名
年内延数 (人)	905	777	738
稼働率 (%)	82.7	71	67.2

【表3】短期入所

定員 2 人	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
4/1 在籍 (人)	1	0	0
3/31 在籍 (人)	0	1	1
実利用者 (人)	28	28	34
医療ケア度	内/超重症児者 1 名 内/準超重症児者 6 名	内/超重症児者 1 名 内/準超重症児者 6 名	内/超重症児者 1 名 内/準超重症児者 6 名
年内延数 (人)	469	606	640
稼働率 (%)	64.4	83	87.4

【表4】総計（長・中・短期入所）

定員52人	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年内延数（人）	18,024	18,015	18,455
稼働率（％）	95	94.9	96.9

2 日中活動実施状況

【表5】目的別活動月別参加者

活動/月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延
陶芸	回数	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	22
	人数	9	6	14	14	14	12	12	12	13	12	14	7	139
コーヒー クラブ	回数	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	11
	人数	11	8	8	11	-	11	11	11	11	11	11	11	115
デザート クラブ	回数	1	1	1	1	1	-	-	-	1	1	1	1	9
	人数	8	8	7	11	7	-	-	-	7	7	4	14	73
音楽 サークル	回数	3	3	1	2	2	2	2	3	3	3	2	2	28
	人数	18	19	7	12	18	15	15	18	23	21	13	14	193

※ピアノ講師により入浴日午後（毎週火曜日・第2,4土曜日）演奏会実施

※夏季プール活動（7/26-9/12）11回/延61名参加 ※園芸 1回8名

【表6】目的別外出

内容	行先		参加回数	参加人数
春の散歩週間（4～6月）	施設周辺		4	38
北条五代祭り	小田原市内		1	2
箱根病院花火大会	箱根病院		1	6
市役所コンサート	小田原市役所		7	23
農業祭	小田原城址公園		1	12
箱根駅伝応援	国道1号線沿い		1	6
個別外出	小田原シティモール	セブンイレブン	20	69
	開成町紫陽花祭り	ひまわり祭（開成		
	平塚ららばーと	デニーズ酒匂店		
	施設周辺	芦ノ湖方面		
	一夜城	えれんなカフェ		
	鎧塚ファーム	星の王子様ミュージアム		
	ダイナシティ			

【表7】主な小集団活動

区 分	4月		5月		6月		
内 容	食事会	お楽しみ 昼食会	光遊び	S側活動	ランチ会	光遊び	ランチ会
場 所	家族室	4Fテラス	スヌーズ レン室	4Fテラス	4Fテラス	スヌーズ レン室	家族室
参加者	2	5	3	4	3	3	5

区 分	6月	7月			8月		
内 容	S側活動	買い物(ふ くらん)	ランチ会	DVD鑑賞	園芸活動	感覚遊び	ランチ会
場 所	4Fテラス	ヴィエン ト	家族室	S側デイル ーム	放デイ外	4階休憩 室	家族室
参加者	6	全員	4	2	3	2	5

区 分	8月	9月			10月		
内 容	ランチ会	敬老会	内容	ランチ会	夜活動	光遊び	ランチ会
場 所	家族室	ヴィエン ト	場所	家族室	家族室	3Fテラス	家族室
参加者	3	5	参加者	5	3	5	6

区 分	11月		12月				
内 容	ふくらん 訪問販売	スヌーズ レン	光遊び	昼食会	夜活動	ランプシ ェード	ランチ会
場 所	ヴィエン ト	スヌーズ レン室	スヌーズ レン室	家族室	家族室	4Fテラス	家族室
参加者	全員	2	3	5	3	5	5

区 分	1月		2月			3月	
内 容	ランチ会	ランチ会	おやつ会	クイズ大 会	宝探し	宝探し	お茶会
場 所	家族室	家族室	家族室	4階テラス	施設内	施設内	家族室
参加者	3	3	11	5	3	4	2

(地域支援事業)

1 デイサービス

【表 8】利用状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開所日数	253日	251日	254日
延べ利用者数	3582名	3671名	4188名
利用者数/日	14.1名	14.6名	16.4名

【表 9】日中活動の状況

活動項目	実施日数	延べ参加利用者数	活動項目	実施日数	参加利用者数
陶 芸	31日	517名	リクエスト活動	53日	894名
園 芸	12日	183名	制 作	72日	1052名
スポーツ	34日	567名	ひまわり祭	1日	6名
かき氷	5日	98名			

2 相 談 室

【表 10】計画相談支援・モニタリング実施状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
契約者数	127名	128名	139名
計画相談支援件数	112名	88名	113名
モニタリング件数	203名	209名	297名
合 計	315件	297件	410件

3 放課後等デイサービス

【表 11】利用状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開所日数	248日	250日	251日
延べ利用者数	1262名	1181名	986名
利用者数/日	5.0名	4.7名	3.9名

【表 12】日中活動の状況

活動項目	実施日数	延べ参加者数	活動項目	実施日数	延べ参加者数
水遊び	3日	9名	季節行事・お楽しみ会	18日	74名
かき氷	5日	21名	草木染	5日	21名

スポーツ活動	21日	69名	散歩	13日	44名
リクエストメニュー選び	5日	26名	陶芸活動	6日	27名
制作	66日	235名	手遊び・音楽	6日	31名
買い物外出	2日	6名	光遊び・リラクゼーション	17日	70名
読み聞かせ	2日	10名	園芸活動	12日	45名
個別課題活動	88日	335名	料理活動	10日	41名

#### 4 地域活動支援センター事業

【表 13】利用状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開所日数	80日	249日	241日
延べ利用者数	246名	1426名	1705名
利用者数/日	3.0名	5.7名	7.0名

\*平成29年度は12月から事業を開始しました。

### < 共 通 部 門 >

#### 1 委員会開催状況

委 員 会	開催回数	検 討 内 容
経営会議	22回	財務・事業の基本方針等重要事項審議
運営会議	19回	経営会議報告、提案・改善事項等の審議
衛生委員会	12回	職員の安全、衛生に関する情報を把握し対応を検討
医療安全管理委員会	12回	医療事故等の未然防止策の審議
感染対策委員会	12回	感染の予防対応に関して検討
褥瘡対策委員会	12回	褥瘡の予防対応に関して検討
薬事委員会	12回	医薬品に関する事案の検討、確認。
給食委員会	12回	食事、栄養関係の全体での報告、検討
研修委員会	10回	研修全体の計画実行
リスクマネジメント委員会	11回	事故等に関する対応対策を評価
権利擁護虐待防止委員会	6回	施設利用者の人権擁護等

## 2 研修実施状況

### (1) 法人内研修 (延べ453名参加)

研修名	日時	参加数	講師及び内容
職場内研修	4/19 16:00~16:40	19名	看護課 塩崎 悦子看護師 「災害時のトリアージ」
新人職員研修①	5/17 9:00~12:00	8名	リハスタッフ 管理栄養士 「トランスファー」「食事提供に関する配慮」
	5/27 9:00~17:20	8名	大川施設長、大友地域支援課長他「理念、歴史、沿革」他
摂食指導研修	4/5 12:00~15:30	12名	神奈川歯科大学 歯科医師 赤坂 徹氏
	5/10 12:00~15:30	16名	
	6/14 12:00~15:30	16名	
	7/12 12:00~15:30	15名	
	8/9 12:00~15:30	16名	
	9/13 12:00~15:30	13名	
	10/11 12:00~15:30	16名	
	11/8 12:00~15:30	14名	
	12/13 12:00~15:30	12名	
	1/10 12:00~15:30	16名	
	2/14 12:00~15:30	15名	
	3/14 感染対策で中止 計(延)	161名	
	医療安全研修(法定)	6/26 14:30~15:30	
腰痛対策研修	7/3 14:30~15:30	20名	神奈中スポーツジム インストラクター 今井 浩治氏 「筋肉を中心にストレッチ、筋力強化運動」
法人主任リーダー職員研修会	7/29 9:00~17:20	18名	法人研修委員長 地域支援課長 大友 崇弘

法人中堅研修	9/30 9:00~15:10	15名	法人研修委員長 地域支援課長 大友 崇弘 「障害福祉・児童福祉の動向に関する講義」他
褥瘡予防研修	10/4 14:30~15:30	15名	東芝林間病院 皮膚・褥瘡ケア認定看護師 後藤 菜穂子氏 「皮膚の基本知識とスキンケアの必要性」
感染対策研修	10/9 14:30~15:30	25 (ビデオ視聴 28名)	感染対策委員長 施設長 大川 俊哉 「予防接種について」
新人職員研修②	11/29 9:00~17:20	8名	大川施設長、大友地域支援課長他「理念、歴史、沿革」他
権利擁護虐待防止研修	1/22 14:30~15:30	24名	特定非営利活動法人(UCHI) 理事長 牧野 賢一氏 障害者虐待防止・権利擁護について~暮らしの視点と関係性から考える~
医療安全研修(法定)	2/3 14:30~15:30 2/10 14:30~15:30	21名	看護課長 眞鍋 裕紀子 「救急蘇生法とAEDの使い方」
法人中堅研修	3/18 9:00~12:00	11名	法人研修委員長 地域支援課長 大友 崇弘 「障害福祉・児童福祉の動向に関する講義」他
腰痛対策研修	3/9・11・13日 各8:30~8:40	延 60名	腰痛予防対策 リハ室 廣澤リーダー

(2) 外部研修参加状況 (延べ72名参加)

神奈川県重心協各部会	26名
栄養ケアセミナー	1名
医療的ケア児等コーディネーター養成研修	1名
意思決定支援ファシリテーションプログラム模擬研修	1名

重症心身障害看護師研修会	14名
特定給食施設等講習会	1名
神奈川県相談支援従事者プレ研修	2名
神奈川県相談支援従事者初任者研修	6名
災害時医療救護活動研修会	2名
重心協初任者研修	1名
潜在相談支援専門員等研修	1名
医療型短期入所の対象理解のために	2名
サービス管理責任者等研修	4名
重症心身障害児・者診療 Update	2名
喀痰吸引等研修	2名
医療と介護の総合展	2名
医療的ケア児等支援者養成研修	1名
地域保健活動推進研修会	1名
食生活支援担当者等研修会	1名
日本環境感染学会学術集会	1名

(3) 県外で開催された学会・研修会等への参加状況 (延べ28名参加)

重症心身障害児者に関わる薬剤師講習会 (東京)	1名
日本重症心身障害全国施設協議会 (水戸)	1名
発達が気になる子への生活動作の教え方 (東京)	1名
サビ管・児発管指導者養成研修 (東京)	1名
リハビリテーション医学会学術集会 (神戸)	1名
日本赤ちゃん学会学術集会 (東京)	1名
医薬品安全管理責任者等講習会 (東京)	1名
日本小児看護学会 (札幌)	1名
摂食・嚥下指導講習会 (東京)	1名
日本重症心身障害学会学術集会 (岡山)	1名
国際福祉機器展 (東京)	6名
日本服薬支援研究会 (東京)	1名
日本栄養士会福祉事業部スキルアップ研修 (東京)	1名
全国重心施設職員研修会栄養士調理師コース (大阪)	1名
全国重心施設職員研修会医療技術管理コース (大阪)	1名
全国重心施設職員研修会看護管理研究会コース (福岡)	1名
日本重症心身障害福祉協会東日本施設協議会 (東京)	4名
日本小児理学療法学会学術集会 (福岡)	1名



東京療育薬学研究会（東京）	1名
重症障害児医療看護師講習会（東京）	1名

### 3 事故、ヒヤリハット件数

#### (1) 重心施設(事故 34 件・ヒヤリハット 118 件)

種 別	内 容	件数	備考
事故 34 件	抜薬、落薬	1 2	
	内出血（右眼瞼、右上腕、右肘、指、左眼瞼、左瞼）	5	
	他利用者へのしかかる	4	
	額打撲	2	
	異食（タオル、車いすアームレスト）	2	
	車いすスポークカバー破損	2	
	車いす体幹ベルト部分の異食	1	
	他利用者からつかみかかられて	1	
	ベッド周囲のクッションを破いていた	1	
	外泊時湿布薬の渡し忘れ	1	
	発作時に右頬を車いすのフットレストにぶつけた	1	
	私物（現金）の返却忘れ	1	
	歯が落ちいていた	1	
ヒヤリハッ ト 118 件	ランドリーにて異物混入発見	25	
	内出血（手のひら、手の甲、右下腹部、背部、手首、眼瞼等）	16	
	ベッド柵関連（ベッド柵、バックル忘れ等）	15	
	ベッド布団上の忘れ物（ガムテープ、緩和材、）	13	
	遅薬（配薬間違い 飲み忘れ）	8	
	NG チューブ、カニューレ抜去	7	
	あざ（小指、足首、頭頂部等）	5	
	ベッド柵に（腕、肘、足）が挟まっていた	4	
	義歯がとれた	2	
	擦過傷（背部、くちびる）	2	
	口蓋に傷発見	1	
	自室ベッド横のタンスを倒す	1	
	気切ベルトの向きが違っていた	1	
	経管栄養注入の遅滞	1	
	モニター配線コネクター破損	1	

	分包紙印字間違い	1	
	座位から倒れこみ	1	
	ベッドギャジアップのコンセント抜けていた	1	
	ワークシートの記入漏れ	1	
	車いすの座面に髭剃りカバー置き忘れ	1	
	カフエア抜き忘れ	1	
	ペグスポンジ返し忘れ	1	
	内服薬の空袋が落ちていた	1	
	ピアノの横緩衝材をちぎっていた	1	
	腹臥位中にクッションごと横になる	1	
	栄養剤投与間違いに気づく	1	
	掲示物をはがす	1	
	車いすに乗車したまま後方に転倒	1	
	抱き抱えていたクッションをかみちぎる	1	
	利用者が開封済の潤滑剤を持っていた。	1	
	採血後の片付けをしていなかった。	1	

(2) 地域支援課 (事故 20 件・ヒヤリハット 8 件)

種別	内容	件数	備考
事故 20件	車両事故 (接触・衝突)	5	
	異食 (尿取りパット・綿)	2	
	利用者呼吸状態悪化	1	
	利用者食後の嘔吐により窒息	1	
	気管内チューブ使用期限切れ使用	1	
	MG チューブ抜去	1	
	チューブ取り違い (気管内・口鼻腔内吸引)	1	
	利用者衣類紛失	1	
	車両パワーステアリング故障	1	
	吸引器を落として破損	1	
	人工呼吸器の加湿器の電源入れ忘れ	1	
	送迎中に一時停止しなかった (違反)	1	
	送迎中に添乗していた職員が足を怪我する	1	
	請求書類の捺印抜け	1	
	南足柄市への書類提出が遅れた	1	

ヒヤリ 8件	送迎車内で利用者が吸引バックの紐を引っ張っていた	1	
	利用者が他の利用者の電動車いすのレバーを動かす	1	
	利用者がベッドへ移行する際、膝をひねる	1	
	利用者の SpO2 が低下していた	1	
	食事発注表の記入漏れ	1	
	利用者の気切部にタオルが掛かっていた	1	
	通所用の車椅子を持ってくるのを忘れた	1	
	小田養から預かった書類を送迎車内に忘れた	1	

(3) 診療課 (事故1件・ヒヤリハット43件)

(リハビリ)

種別	内容	件数	備考
事故 1件	カルテ内の記録用紙を紛失した。	1	
ヒヤリハット 7件	PHS を居室の衣装ケースの上に置き忘れた。	2	
	外来利用者の医療証・保険証をコピーした後、コピー機に置き忘れた。	2	
	補装具作製に必要な提出書類をご家族に渡し忘れた。	1	
	外来リハビリ中に扉が利用者の足にぶつかった。	1	
	短期入所の利用者家族に同室者の名前と体調を伝えてしまった。	1	

(厨房)

種別	内容	件数	備考
ヒヤリハット 36件	誤配膳 (食形態の誤り)	3	
	誤配膳 (禁止食品が配膳されていた)	3	
	誤配膳 (品数・量の不足)	6	
	誤配膳 (提供する利用者の誤り)	1	
	誤配膳 (配膳されていない利用者がいた)	5	
	誤配膳 (ショート退所済の利用者に配膳されていた)	2	
	誤配膳 (経管栄養の利用者に配膳されていた)	1	

	異物混入（毛髪）【利用者食】	6	
	異物混入（毛髪）【職員食】	3	
	異物混入（虫）	2	
	異物混入（ビニール片）【職員食】	2	
	配膳の遅延	1	
	異物の発見（嘔吐物）	1	

#### 4 防災訓練等

日 時	部 署	訓 練 内 容
4月22日 25日	放デイ・重心施設 リハビリ	部署別の避難訓練・消火訓練
5月27日	重心施設	部署別の避難訓練・消火訓練
6月13日 19日 24日 26日	地活 リハビリ 重心施設 放デイ	部署別の避難訓練・消火訓練
7月22日	新採用職員	消火訓練・備蓄確認
7月24日	全体	*総合防災訓練・炊出し訓練・通報訓練
8月19日 26日	リハビリ 重心施設	部署別の避難訓練・消火訓練
8月30～ 9月5日	全体	職員安否確認訓練
9月17日 20日 25日	リハビリ 放デイ 重心施設	部署別の避難訓練・消火訓練
10月28日	重心施設	部署別の避難訓練・消火訓練
11月25日	全体	*総合防災訓練・通報訓練
12月16日 21日	リハビリ 重心施設	部署別の避難訓練・消火訓練
1月27日 31日	重心施設 リハビリ	部署別の避難訓練・消火訓練
2月19日 21日	リハビリ 重心施設	部署別の避難訓練・消火訓練
3月1～ 15日	全体	利用者家族安否確認訓練

3月23日	重心施設	地震想定避難訓練・消火訓練
-------	------	---------------

## 5 施設設備等の整備・保全

### (1) 主な保守点検

- ・電気設備      ・エレベーター      ・自動ドア      ・ボイラー      ・空調機器
- ・ランドリー機器      ・厨房機器      ・医療ガス      ・機械浴槽      ・浄化槽

### (2) 一般修繕など

- ・パソコン購入（24台） 186万円
- ・浄化槽ばうき槽、流量調整槽配管更新工事 382万円
- ・浄化槽調整槽ポンプ更新工事 49万円
- ・エアコン室内機内部清掃、フラップ交換 183万円
- ・加湿器更新工事 64万円
- ・自動ドア修理 114万円
- ・X線画像処理装置更新 194万円
- ・非常照明交換 30万円
- ・エアコン修理 11万円
- ・漏水対策工事 100万円
- ・自動水栓設置工事 43万円
- ・湧水ポンプ交換工事 35万円
- ・防犯カメラレコーダー交換 16万円
- ・不要物品処分 11万円
- ・デイサービス利用者送迎用ハイエース（95-02）修理 12万円
- ・リハビリセンター直通電話ナンバーディスプレイ設定 10万円
- ・医局当直室エアコン更新工事 41万円
- ・ベランダ壁面と綜工事 28万円
- ・307号室エアコン冷媒配管漏洩修繕工事 39万円

### (3) その他

- ・日常清掃及び特別清掃（ワックス塗布、ガラス清掃等）
- ・施設周辺草刈等環境整備

## 6 ボランティアの受け入れ（延べ228名）

衣類補修等	延べ32名	車いす清掃	延べ11名
ピアノ演奏	延べ66名	個別支援	延べ6名
デイ活動補助	延べ33名	陶芸	延べ43名

秋祭り	37名
-----	-----

7 実習生・研修生の受入状況（6名）

保育士	小田原短期大学	令和元年8月11日～25日	1名
〃	鎌倉女子大学短期大学部	〃 9月9日～21日	1名
〃	鎌倉女子大学	〃 9月23日～10月5日	1名
〃	和泉短期大学	令和2年2月12日～26日	1名
理学療法士	帝京平成大学	令和元年4月8日～6月7日	1名
〃	東京工科大学	〃 5月27日～7月5日	1名